

NuPrime ドライバーインストールのご案内

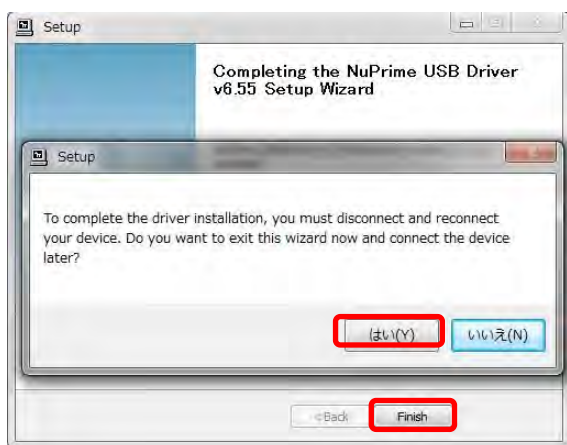
uDSD, DAC9, IDA8, IDA16 共通

改訂:2017/11/15

NuPrime USB 製品は、Windows PC では Driver のインストールが必要となります。
(Mac、Linux では不要です。)

【ドライバーインストール】

1. ドライバーをダウンロードします。下記の OS をクリックしてください。自動的にダウンロードされます。
* [WindowsXP 用](#)
* [Windows7 および 10](#)
2. uDSD または DAC9、IDA8、IDA16 のお使いの機器を PC へ接続し、機器の電源を入れてください。
3. ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてください。
指示に従い全ファイルがインストールされると、以下のように表示されます。



「Finish」をクリックし、「はい」で終了

これでドライバーのインストールは完了です。

以下は再生ソフトウェアの設定となります。代表的なソフト 2 例を紹介します。

- PCM 再生方法 →通常はこちらをご参照ください。
- DSD 再生方法 →DSD ファイルをお持ちの方のみ参照ください。設定には PC のスキルが必要です

PCM 再生

■再生手順 ※例：Windows10、再生ソフト **foobar2000** 使用

1. **foobar2000** を PC へダウンロードし、指示に従いインストールしてください。

<http://www.foobar2000.org/download>

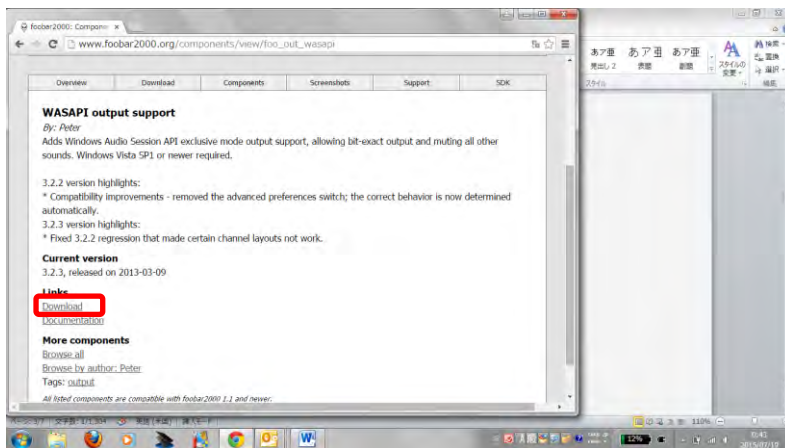
※ 途中、PC が許可を求める場合には「はい」をクリックしてください

2. **WASAPI プラグインのインストール**

次に PCM データのハイレゾファイル等の再生に必要な「WASAPI プラグイン」を追加します。

- ◆ WASAPI とは PC に標準で搭載されている「コアオーディオ」をバイパスして、元のサンプリングレートのままオーディオデバイスへファイルを転送するための Windows の機能です。

http://www.foobar2000.org/components/view/foo_out_wasapi



上記リンクをクリックすると、左の画面が表示されます。

「Download」をクリックし、PC に保存します。

※ 最新のバージョンをインストールして下さい（2017年06月現在、最新は3.2.3となります）

↓

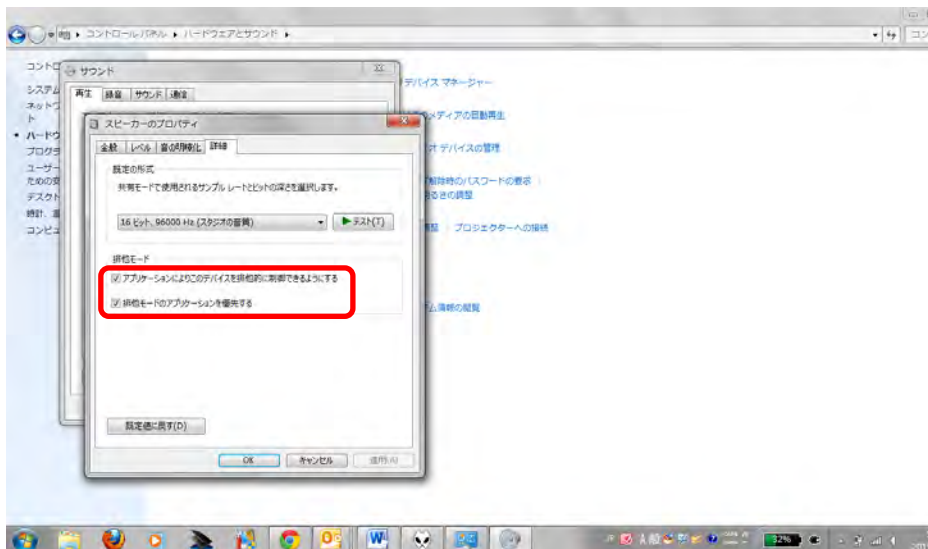
ダウンロードした Component ファイルをクリックしてください。

自動で foobar2000 の「Preferences」（設定画面）の「Components」タブに追加されます。

↓

次に右下の「apply」をクリックして foobar2000 を再起動してください。

- ✓ 以下の「サウンド設定」を確認してください。(uDSD、IDA8、IDA16 を PC へ接続した状態)
- 「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「サウンド」を開き、「再生」タブ中の uDSD 等が「既定値」として選択されているか、(※既定値として選択されていない場合には選択)
- さらに右下にある「プロパティ」をクリックし「詳細」タブの「排他モード」項目 2 つにチェックが入っていることを確認してください。



「排他モード」の項目 2 つに
チェックがついていること

* Windows10 では「パーソナル設定」→「テーマ」の中にサウンドの詳細設定があります。

3. ASIO プラグインのインストール

次に ASIO プラグインを追加します。

- この機能は DTM 制作のために開発されたもので、WASAPI よりさらに低レイテンシーでデバイスにデータ転送を行います。Windows のみの機能です。

下記ページより、「Download」をクリック

http://www.foobar2000.org/components/view/foo_out_asio

WASAPI と同様にインストールしてください。

以上で PCM 再生に必要な機能は追加されました。

ハイレゾ再生には WASAPI 用ドライバー、または Asio ドライバーを使用して下さい。音質は異なりますのでお好みでお選びください。

補足：一般には Asio での再生は音質面に優れているとされ、さらに、382k/24 まで対応しています。

Asio ドライバーを使用する際には、Foobar2000 の「File」>「Preference」>「Playback」>「OUTPUT」画面の「Device」タブから「Asio:NuPrime ASIO driver」を選択します。

※ これらは PCM 専用ドライバーです。

ご注意：難易度の高い機能ですので、自己解決可能な方のみ設定をお薦めします。

DSD 再生

■ Foobar2000 での再生 *以下のコンポーネントが必要となります。

「**Super Audio CD Decoder**」

https://osdn.jp/projects/sfnet_sacddecoder/

I. 上記サイトより最新バージョンをダウンロードして、zip ファイルを解凍してください。



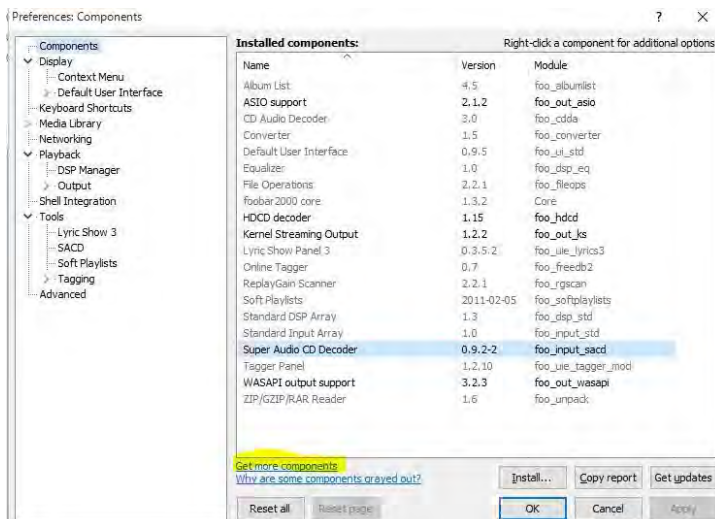
II. 解凍したファイルをダブルクリックすると自動で foobar2000 の Component に登録されます。



解凍したファイルを
ダブルクリックする

III. Apply をクリックして完了です。

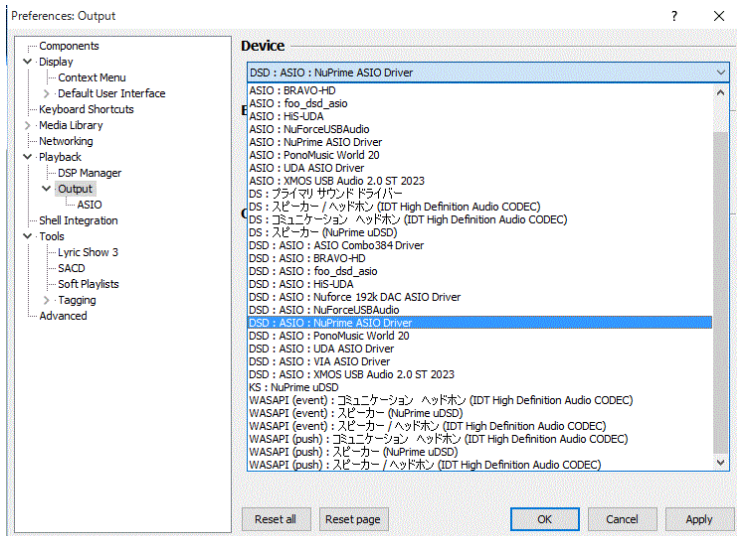
*これは DSD 等を再生するためのプラグインです。以下のように登録されます。



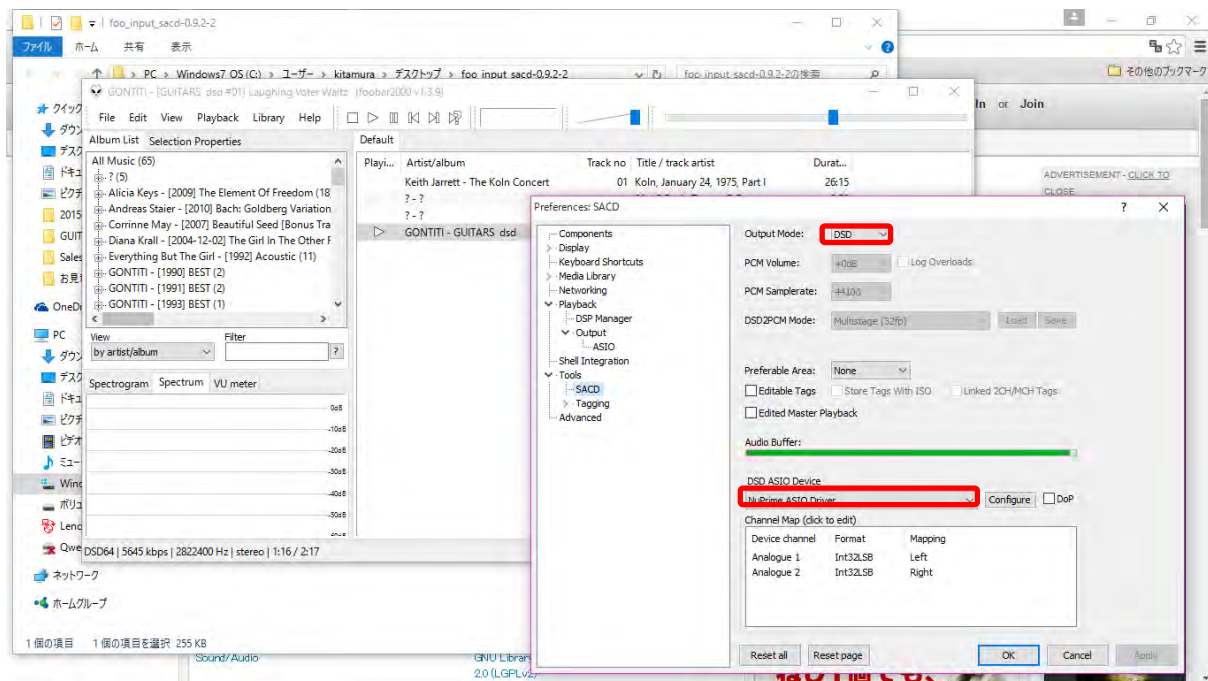
2017/06 現在 1.0.9 になります。

「DSD256 までの再生方法」

- ① 「Playback」 > 「OUTPUT」 タブからドライバーに「DSD:ASIO:NuPrime ASIO Driver」を選択します。



- ② 同じく「Playback」 > 「OUTPUT」 > 「SACD」 から「OUTPUT MODE」を PCM から DSD へ、DSD ASIO Device を「NuPrime ASIO Driver」へ変更。



DSD:ASIO: と表示された Driver では DSD ネイティブ再生を行います。

DSD 64, 128, 256 の全てが再生可能となります。また PCM 再生もそのままご利用いただけます。

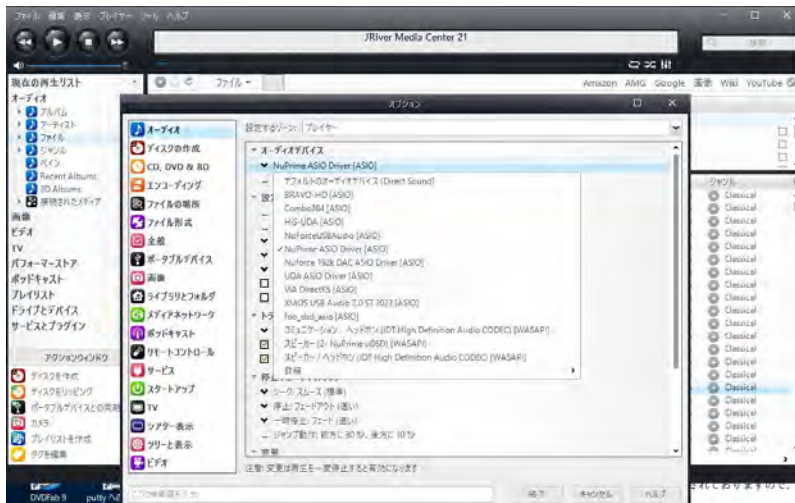
有償ソフトについて

※こちらに関しては任意でご確認ください。

再生ソフトとして利便性、音質面とも優れているとされる JRiver Media Center に関して、ご使用方法のポイントと注意点です。

PCM 再生

「ツール」→「オプション」にてオーディオの設定をしてください。



「NuPrime ASIO Driver」と「スピーカー NuPrime uDSD:WASAPI」が使用できます。

DSD 再生の注意点

DSD64、DSD256 再生時の設定

*上記の「オーディオデバイス」中の「設定」にある「DSP と出力ファイル」を設定します。

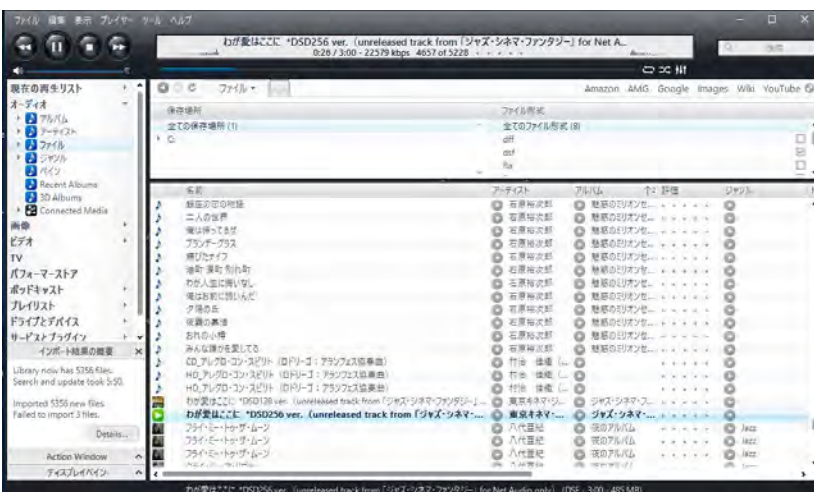


4 x を選択します。

注意：

DSD128 を再生時には、
2 x を選択します

以下のように DSD256 を再生可能となります。



Mac について

OS の持つ標準ドライバーにて動作いたします。

コアオーディオにおいて NuPrime 製品を音声出力の規定値に設定してください。

※ 音が出ない場合は、まず音声出力の規定値をご確認ください。

ご存知のように Mac では Dop 方式のみ再生可能となっており、DSD のネイティブ再生は OS の制約からできない仕様となっています。

なお、有償になりますが Dop 対応の再生ソフトにて DSD128 までの再生が可能です。詳しくは各再生ソフトの取扱説明書をご覧ください。

ご注意：

foobar2000 等でのファイル再生について、上記ソフトウェアのインストール手順をご案内しておりますが、ソフトウェアは常時更新されておりますので、表記や手順が異なる場合がございますことご了承ください。

foobar2000 など再生ソフトについてのご不明な点は、各ソフトのカスタマーサポートへお問い合わせください